

経営比較分析表（令和元年度決算）

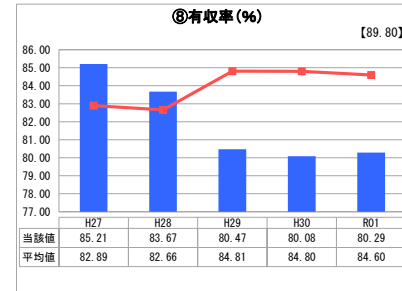
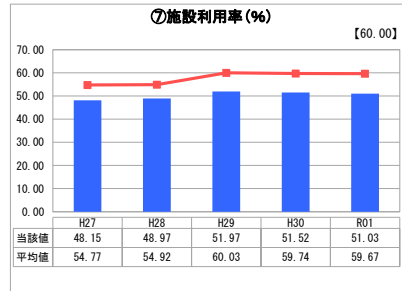
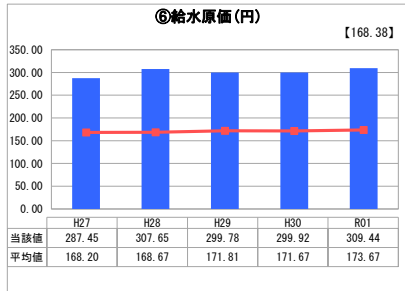
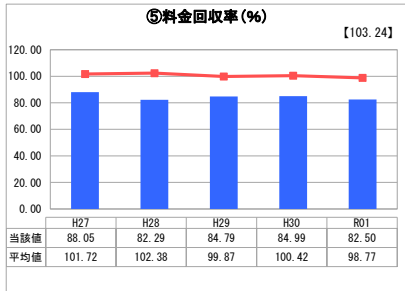
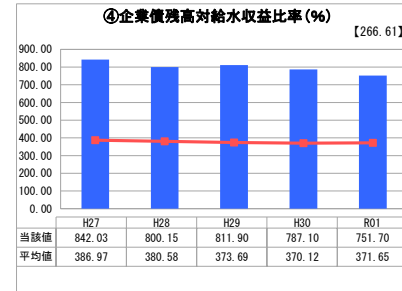
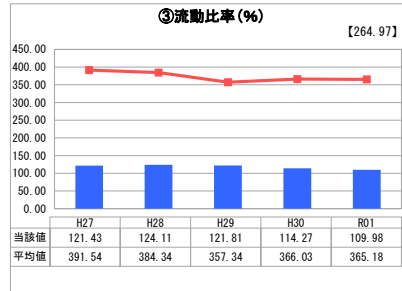
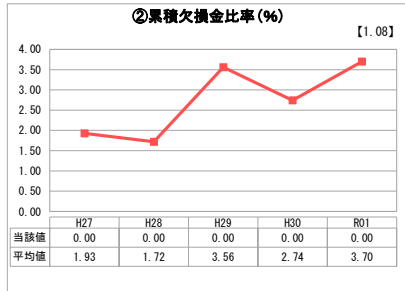
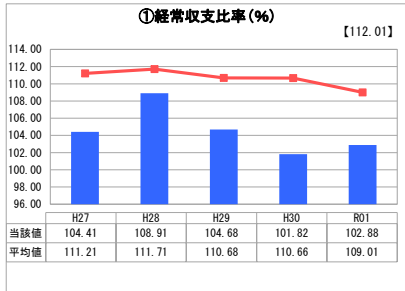
鳥根県 大田市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり客単料金(円)	
-	51.81	91.08	5.005	

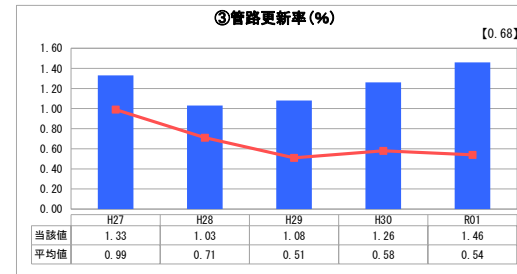
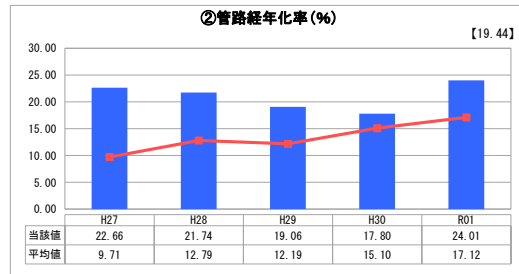
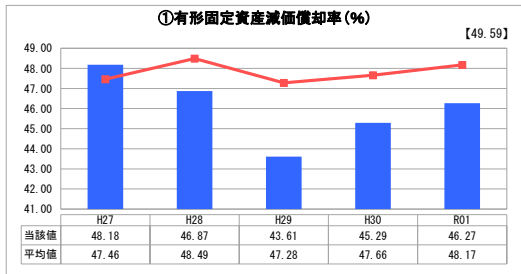
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
34,349	435.71	78.83
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
31,096	85.94	361.83

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率(%)
他会計補助金などの増により数値は改善したものの、給水収益は減少傾向にあり、依然として厳しい経営状況となっている。
- ② 累積欠損金比率(%)
累積欠損金は発生していない。
- ③ 流動比率(%)
類似団体平均を下回る状況が続いており、平成29年度の簡水統合以降数値が悪化している。令和2年度以降は、企業債元金償還が多い時期となり、厳しい資金繰りが見込まれる。
- ④ 企業債残高対給水収益比率(%)
過去の建設投資時における多額の企業債発行の影響で、類似団体と比べ高い数値となっているが、企業債元金の償還が進んでおり、数値は改善傾向にある。
- ⑤ 料金回収率(%)
給水原価が供給単価を上回る状況が続いており、さらなる経営改善が必要な状況である。令和元年度は、資産減耗費の増などにより給水原価が上昇し、数値が悪化した。
- ⑥ 給水原価(円)
経費の削減を継続して行っているものの、減価償却費や資産減耗費などの影響により、平均値と比較するとかなり高い数値となっている。
- ⑦ 施設利用率(%)
平均値を下回っており、配水量に対して施設規模が大きい傾向にある。
- ⑧ 有収率(%)
すべての漏水に対応することは難しいが、管路の更新や漏水調査によって、前年度に比べて数値は改善した。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率(%)
管路や水道設備の更新を継続して行っているものの、全体的に施設の老朽化が進んでいる。
- ② 管路経年率(%)
老朽管更新を継続して行っているものの、耐用年数を経過した管路の増により、当該指標は悪化した。
- ③ 管路更新率(%)
全国平均値よりも高い管路更新率となっている。補助事業に加えて、下水道などの他事業と合わせて、計画的な老朽管路更新を実施している。

全体総括

本市水道事業は、人口減少や節水機器の普及などにより有収水量の減少傾向が続く、給水収益の落ち込みが事業経営に大きく影響を及ぼしている。一方で、施設の老朽化が進み、耐用年数を経過した管路などの水道施設は年々増加しており、計画的な更新及び耐震化を行わなければならない。今後投資の効率化や維持管理費の適正化、適正な費用収入の確保といった経営の健全化について検討していく必要がある。